

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く(85)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(85)—

1. 始めに

前報(84)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。今回も Crystal E に 10000F の電解コンデンサーを連結しています。さらに今回から、スピーカーの接続に NRF-005T の処理をしています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も交響曲です。

L'OISEAU-LYRE D1680-1~D1680-3

モーツアルト **Symphony in C Major**
 Symphony in D Major
 Symphony in D Major
 Symphony in C Major
 Symphony in D Minor
 Symphony in F Major
 Symphony in C Major
 Symphony in A Major
 Symphony in G Major
 Symphony in C Major
 Symphony in C Major

Academy of Ancient Music

Concert Master: Jaap Schroeder

Continuo: Cristopher Hogwood

3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

L'OISEAU-LYRE 盤ですが、製作は DECCA となっていますので、DECCA、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

モーツアルトの1766年から1772年までのSalzburg時代の初期のSymphony11曲を集めたもので、どの曲も明るく軽快で楽しく聴けます。

Concert Master の Jaap Schroeder が率いる Academy of Ancient Music の演奏は、爽やかでテンポのよい演奏です。

クレジットには、前報(84)の DECCA 盤と同じく、オリジナル楽器使用と記載されており、Academy of Ancient Music で演奏された楽器の詳細が記載されています。ピッチは 430 となっており、モーツアルト時代の雰囲気再現しようとする試みで演奏されており、オリジナル楽器の特性を活かした優雅な雰囲気が漂っています。

4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E などの総合的な効果として、Salzburg 時代の Symphony11 曲の特徴が把握できました。

以上